事例No.	2119
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	島根県松江市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・ICT

事例種類	文化・スポーツ

事例内容・タイトル

VRによる高齢者等への文化財の擬似体験機会の提供

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

139 VRによる高齢者等への文化財の擬似体験機会の提供【島根県松江市】

事業の概要

○　松江市は、同志社大学と市の文化財に関するICT技術等の活用について、令和3年3月に協定を締結した。協定に基づき、松江城天守をVRで再現する取組を行っている。

○　松江城天守は国宝であるため、エレベーター等を設置できないことから、高齢者や体の不自由な人が天守に登ることができないという課題があった。しかし、VRにより、天守に登る擬似体験をすることが可能になる。

○　市は、VR体験ソフトが完成した際には、バリアフリー対応の施設(松江歴史館)内に設置することで、多くの人々に文化財に触れる機会を提供することを目指している。



【参考情報】 人口：20.1万人
関連URL：　ー

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



ICT技術をまずは国宝の松江城天守で活用しようと考え、課題であった天守の登閣が困難な方へのVR疑似体験というアイディアにたどり着きました。

（松江市）



事業の近況を教えてください。



令和４年の夏から松江城天守VRの試行運用目指して準備を進めています。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



スロープの設置などバリアフリー環境の整備が難しい文化財では、ICT技術の活用が文化財の魅力を伝える有効な手段になるのではないかと考えています。

★担当：松江市文化スポーツ部 松江城・史料調査課★

令和3年度事業費　309千円